「平和と人権」市民ネットワーク情報　NO3

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2016.3/22

寒暖差の大きいこの時節は、花粉症だけでなく風邪を引いたりして体調を崩しやすい候でもあります。皆さまお変わりありませんか。

高田健さんの講演と交流の集い

すでにご案内の通り、**4 月 3 日(日)午後 2 時**から、**八幡野コミュニティセンター**で、「高田健さんの講演と交流の集い」を開催します。

高田健さんは、総がかり行動実行委員会の中心メンバーのお一人です。昨年の戦争法廃案運動では、数次にわたる国会包囲行動を企画・実行されました。現在は、戦争法廃止に向けた野党共闘を市民運動の側から後押しされています。夏の参議院選に向けて、安倍政権の専横に待ったをかけるために、市民・市民団体・政党の間でどんな協働が必要か、運動の課題は何か。高田さんが、実践家の立場から縦横に語っていただけるものと思います。

◆当日の進行プログラムは以下の通りです。

14:00~14:05…開会のことば
14:05~15:20…高田健さんの講演「戦争法を廃止、九条改悪を阻止するために」(75 分)
15:20~15:30…休憩
15:30~15:50…市民、市民団体、政党関係者から当地での活動の報告　(20 分)
15:50~16:15…質問・意見交換 (25 分)
16:15~16:25…高田健さん、まとめ (10 分)
16:25~16:30…閉会のことば　(アンケート記入)

講演だけでなく、伊東での各団体・個人の活動と、参加者による意見交換を柱に会を進行します。イベント名を「高田健さの講演と**交流の集い**」としたのはそうした趣旨からです。

☺ 皆様のお力を!

コミセンの 3 階は「大会議室」の名前とは裏腹に、写真のように一面フロアーが広がっているだけです。ここに長机 30 脚、椅子 90 個を並べて会場を作ります。文字通りの意味で皆さまの「**お力**」が必要です。**13:30 の開場に間に合わせるため**、一人でも多くの方が早めにお越しいただいて、**力添え**くださるようお願いします。

☆4 月 3 日は伊豆高原の「桜祭り」の期間と重なります。交通の混雑が予想されます。車の方は早めに出発してください。なお、駐車場はコミュニティセンターの正面(駅側)にあるグラウンドです。駐車料(100 円/台)は会場の受付にてお支払いください。

イベントの報告と案内

【１】 ３月５日に、**小出裕章さんの講演会**がありました。観光会館会議室に設けられた 150 の席はほぼ一杯になりました。主催した「原子力いいんかい?」の中山千夏さんとのトークの後、小出さんが福島原発被災の実相をスライドを使って説明されました。

・原発から放出されたセシウム 137 は広島原爆の 168 発分に相当する。
・放射線管理区域は 4 万ベクレル/m^2 の基準値だが、東北から北関東一帯の大地はこの数値を上回る被ばくを受けた。
・5 年経った今も、この地とそこに住む人たちは被ばくにさらされている。除染の実態は移染でしかない。
・福島原発の敷地内に林立する汚染水タンクはじきに満杯となり、汚染水はやがて海洋に放出するしかない。
・事故後の原子力規制委員会の規制基準は、安全基準ではない。規制基準にパスした原発が安全とはいえない。

☞ そして、小出さんは力を込めて言います、「この事態に対して電力会社も役人も政府も誰一人責任をとろうとしないまま、 再稼働に突き進んでいる」

【２】 3 月 26 日、**「福島から伝えたいこと」講演会** があります。

・講　師…小林みゆき　さん(福島県の先生)
・日　時…3 月 26 日(土) 13:30～15:30
・会　場…観光会館　第一会議室　　(保育室あり、事前連絡を)
・入場料…無料
※主催は「新日本婦人の会　伊東支部」　　(連絡先:勝俣福代　☎51-1038)

主催者からのアピール－勝俣福代さん－

３．１１東日本大震災、大津波、福島原発事故から５年。原発事故に関しては、地元福島の方々を始め私たちには真実が伝えられませんでした。マスコミで取り上げたものは納得・理解できないものばかりでみんなで怒りの声を挙 げました。

そんな中、「福島から伝えたいこと」第１集が手に入り、一気に読んでしまいました。昨年末に第２．３集を取り寄せ『これが福島の真実だ』と思いました。復興を声高に叫び、故郷に帰還することが事故を収束させたことのように捻じ曲げている国や県の動向が覗えるが、そうで

はないのではないかと思っている多くの方がいます。みんなで「福島から伝えたいこと」の話を聞きたい、そしてみんなで改めて考えていきたいと思い講演会を企画しました。福島に生まれ、これからの日本を背負っていく高校生の思い・声を伝えて下さる貴重な時間を皆さんと共有したいと思います。どうぞ、ご家族・友人をお誘いあわせ、ご参集いただけますようお願いします。

＊当日は観光会館の駐車場が使えませんので、乗り合わせてお出かけください。
＊「福島から伝えたいこと」の文集を当日会場で販売しますので希望される方はお求めください。
（第１~３集まで各５００円）
＊講演会後、休憩し、講師との懇談を予定していますので、ご希望の方は参加してください。

【３】伊東平和委員会城ケ崎サークル４月例会
☞ 別紙(or 添付ファイル)参照
・日時…4 月 13 日(水) 14:00~16:00
・会場…「アロマローズ」(☎ 51-0563　連絡先も)
・テーマ…「行政と私たちの暮らし」

私の主張－電力自由化に向けて－

安部川てつ子　(子どもたちを放射能から守る伊豆の会)

２０１６年４月から一般家庭や小規模な事業者でも電力会社を選べるようになります。電気料金だけでなく電源構成や温室効果ガス排出や会社のビジョンなどで選ぶことが出来るようになります。

電力の自由化は電気料金が高いか安いかを選ぶものではない。クリーンで安心して暮らせる日本を子孫に残すかという重大な選択なのです。

自然エネルギーを中心にする新しい電力会社（現在１２社）も準備中です。ただ、大手電力会社（旧電力会社）に比べて資本力や宣伝力が圧倒的に不足しています。

私たちが自然エネルギーを重視する電力会社を選ぶことは「原発を卒業したい」、「日本にもっと自然エネルギーを」という気持ちを行動に移すことです。

４月からの開始はごく少数で、規模も限られていますが、準備中の会社は早くても秋頃もしくはそれ以降になります。

電力業界は大手バイヤーからは利益を取れず、９電力会社平均で家庭から７割、東京電力に至っては家庭から９割の利益を得ています。いかにして東電以外から電力を買うかが当面の課題です。

〔電力会社を選ぶために重視するポイント〕

１．電源構成などの情報開示をしている。
２．自然エネルギーを中心として電源調達する。
３．原子力発電や石炭火力発電は使わない。（常時バックアップ分は除く）
４．地域や市民による自然エネルギーを重視。
５．大手電力会社と資本関係がない。（子会社や主要株主でない）

パワーシフト宣言（自然エネルギー買いたい宣言）に登録して電力会社の情報を各自入手しましょう。

パワーシフト　検索　　http://power-shift.org/

若者の沖縄派遣プロジェクトの今

加藤好一

「伊東の青壮年を私たちの代表として辺野古へ派遣しよう」・・・１月１６日の沖縄映画会でそう呼びかけたところ、たくさんのカンパが寄せられ実現可能となりました。本当にありがとうございます。希望者は教員をふくむ市民３名。そこに同行者１名が加わります。すでに２度の会合を開き、「大いに交流しよう。戦跡や米軍基地も見てきたい」などと語り合いました。滞在期間は５月１３日から１５日をめどに調整。現地での体験をもとに、今後どう伊東に生かしていくかを考えてもらいます。市民の理解をさらに深め、取り組みを次につなげるために・・・

事務局から－2000 万署名ご協力のお願い－

ご承知の通り、昨年 9 月 19 日に安保関連諸法（いわゆる戦争法）が強行採決されたのちも、国民の怒り、反対の声は一向に鎮まる気配がありません。戦争法の廃止を求めて全国各地で「19 日行動」が取り組まれています。そうした全国の多様な運動を一本に集約したのが「戦争法の廃止を求める統一署名」いわゆる 2000 万署名の取り組みです。伊東でも、志ある市民が自発的に、あるいは市民団体が組織的に署名活動に取り組んでいます。「市民ネットワーク」賛同の皆様も、ぜひこの署名にご協力をお願いします。

①**まだ署名されていない方**は、同封の署名用紙に名前と住所をお書きください。メール受信者は、添付ファイルを印刷して署名してください。

②5 名連記の用紙ですが、**1 名や 2 名でも**構いません。

③記入した用紙を、**4 月 3 日高田さんの講演会の時に**お持ちください。講演会に来られない方は、申し訳ありませんが、下記住所宛にお送りください。

〒414-0044　伊東市川奈 1365-7　三好康昭　宛

◎以上です。よろしくお願いします。